

日本医師会生涯教育講座 (申請中)
(公財) 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
(一社) 日本緩和医療薬学会緩和薬物療法認定薬剤師制度

疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進の講習会

～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内

厚生労働省

埼玉県

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、埼玉県及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会を下記により開催し、多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1 日時 平成29年3月5日(日) 午後2時～午後5時

2 場所 JA共済埼玉ビル大会議室
さいたま市大宮区土手町1-2

電話 048-644-2271

3 内容

コーディネーター

埼玉県立がんセンター緩和ケア科

余宮 きのみ 先生

(1) 講演 「満足できるがん疼痛治療を実践するには～評価と実践を再確認～」

山形県立河北病院 緩和ケア科 地域医療支援部

奥山 慎一郎 先生

(2) 講演 「薬剤師が関わる在宅ケア」

ウエルシア薬局(株) 調剤在宅本部在宅推進部

小原 道子 先生

(3) 講演 「在宅のがん疼痛治療について」

石井医院院長

石井 利明 先生

(4) 講演 「医療用麻薬の適正使用について」

埼玉県保健医療部薬務課 薬物対策担当 主査

大林 香澄 先生

(5) 質疑応答

4 対象者 医療関係者

5 参加費 無料

6 主催 厚生労働省 埼玉県 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (一社) 埼玉県医師会 (一社) 埼玉県薬剤師会 (予定)

8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和発酵キリン、塩野義製薬、第一三共、大日本住友製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝國製薬、テルモ、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 事務局 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター (富澤・白井)

電話 03-3581-7436

10 参加申し込み

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページ

(<http://www.dapc.or.jp>) よりお申し込みください。

FAXによるお申し込みも受け付けております。(03-3581-7438)

3月2日(木)まで受け付けますが、定員に達し次第締め切ります。

【医療関係者対象の講習会】

「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会」
参加申込書（FAX）

申込先FAX番号：03-3581-7438

平成 年 月 日

会場	J A 共済埼玉ビル大会議室		
日時	平成29年3月5日（日） 午後2時～午後5時		
ふりがな			
氏名			
職種	医師 歯科医師 薬剤師 看護師 その他の医療関係職種（ ）		
所属	病院 診療所 保険薬局 その他（ ）		
住所	都道府県	市区町村	
連絡先	FAX：（ ）	—	
	TEL：（ ）	—	
受講証明 (注3、4)	<input type="checkbox"/> 医師生涯教育講座 <input type="checkbox"/> 薬剤師研修センターシール <input type="checkbox"/> 緩和医療薬学会シール		
質 問 (講習会の最後にパネル形式で質疑応答を行います。)			

- (注) 1 この申込書の個人情報は、本講習会関係事務以外には使用いたしません。
- 2 ご希望の方には、財団発行の受講証明書をお渡しいたします。
- 3 お申し込みが多い場合は、臨床の医療従事者の方の受講を優先いたします。このため、製薬会社にご所属の方については、受講をご遠慮いただくことがありますのでご承知おきください。その場合は、2月27日までにFAXでご連絡します。
- 4 受付票は発行しません。定員超過の場合はご連絡します。